

第19回のじぎくオープンゴルフ選手権大会

1次予選競技会

開催日：令和7年3月12日（水） 予備日：令和7年3月28日（金）

兵庫県ゴルフ連盟

開催コース：千刈カンツリー倶楽部

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則18）

- ・アウトオブバウンズの境界線は白杭によって定められる。ただし、11番、12番、13番、14番ホールでは現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
- ・紛失球やアウトオブバウンズの球についてストロークと距離に代わる選択肢、ローカルルールのひな型E-5を適用し、プレーヤーの球が見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実な場合、そのプレーヤーは2罰打を受け、プレーヤーはこの救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる。

2. ペナルティーエリア（規則17）

- ・ペナルティーエリアの線は赤杭で定め、片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- ・ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、ローカルルールひな型E-1.1を適用し、1番、3番、7番、9番、11番、15番、17番のペナルティーエリアの中に球がある場合（見つからない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合を含む）、1罰打に基づく救済の追加の選択肢となる。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

- ・修理地は白線で囲まれた区域とする。
- ・排水溝は動かさない障害物とする。
- ・電磁誘導カート用の2本の軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
- ・動かさない障害物と白線で結んだ区域は1つの異常なコース状態として扱う。
- ・防球ネットから救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニアレスポイントを決定しなければならない。
- ・ペイントした線や点、ローカルルールひな型F-21.1を適用し、フェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。
- ・動物の糞、ローカルルールひな型F-12を適用し、動物の糞は次のどちらかとして扱うことができる。規則15.1に基づいて取り除くことができるルースインペディメント。または、規則16.1に基づき救済が認められる修理地。

4. ラウンド中の練習（規則5）

ローカルルールひな型I-2を適用し、規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。違反がホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

5. 特定用具の使用制限

『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。

『溝とパンチマークの使用・ローカルルールひな型G-2』を適用する。

『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。

6. プレーの中断と再開

(1)プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則5.7a, b, c, dに従って処置すること。

(2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

競技者がすぐにプレーを中断しなかったとき、規則5.7bに定められている、プレーを止めなかったことが正当であると委員会が裁定した場合、罰はない。

(3)プレーの中断と再開の合図について

危険な状況のためのプレー中断は、1回のサイレンとカート付設の無線により伝えられる。

その他すべての中断は、断続的にサイレンとカート付設の無線により伝えられる。そちらの場合も、プレー再開は1回の長いサイレンとカート付設の無線より伝えられる。（規則5.7b参照）

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
4. 移動 正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
5. タイの決定 順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。
6. 通過者
2次予選会への通過者決定は、Hdcp Index Aクラス(0.0~9.9)Bクラス(10.0~18.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて40名の方が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与する。
7. 本競技のスコアをプレーヤーもしくはプレーヤーの所属するゴルフクラブがJ-sysに登録する際は、スコアタイプのラウンド種別を「競技」に指定して登録すること。

注意事項

1. 男性ティーマーク：ブルー 女性ティーマーク：グリーン
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレーヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1コインまでとする) 9ホール終了後、パッティング練習は可とする。(本競技はスループレーではない)
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のHdcp Index証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
11. GlidNoを複数お持ちの選手は、開催日までに1つに決定してください。
なお、開催後に故意に複数取得されている選手と発覚した時点で、参加した競技が終了していたとしても、その選手の成績は過去に遡りその時点から無効とします。
各選手は、競技参加日までに再度WEB会員情報内、選手登録を開き現在のGlid No及び所属先と最新のHdcpを確認のうえ訂正がありましたら開催日までに変更し、ご参加ください。

競技委員長 平井 豊